

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2023年1月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで60年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2023年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2023年1月度ギャラクシー賞月間賞

ゴールデンラヴィット!

12月28日放送 21:00~23:47 TBSテレビ

年末特番。これからはぜひ大みそかに放送してほしいと思うくらいのクオリティの高さだった。出演者やスタッフらが、テレビを使って全力で遊び、楽しんでいる様子が伝わってくる。「ラヴィット!」は、朝の情報番組の概念を変えた。生放送ならではのハプニング、ドキドキ感を維持しつつ、年末の風物詩となってほしい。

NHKスペシャル 未解決事件 File.09 松本清張と帝銀事件**第1部 ドラマ「松本清張と『小説 帝銀事件』」****第2部 ドキュメンタリー「74年目の“真相”」**

12月29日(21:00~22:30)、30日(21:00~22:00) 日本放送協会

1948年に起きた「帝銀事件」。12人を殺害したとして死刑判決を受けた平沢貞通は無実を訴え続け獄中で死亡した。第1部はドラマで松本清張が文藝春秋の編集長と真相に迫ろうとする姿を描く。第2部はドキュメンタリーで事件から74年たって明らかになった事実を積み重ねる。連合国軍占領下の日本と旧日本陸軍の間に迫る力作。

プロフェッショナル 仕事の流儀「縁の下の幸福論～校正者・大西寿男～」

1月13日放送 22:00~22:45 日本放送協会

書籍や雑誌を作る過程で、誤字脱字、文字の間違いをみつけるのが校正者の仕事とっていたが、そうではなかった。番組はフリーの校正者・大西寿男の仕事ぶりを通して、地味な縁の下の仕事、校正の奥深さに迫る。作家や編集者たちから絶大な信頼を得る“言葉の守り人”たる大西の真摯な姿勢に学ぶことは多い。

不夜城はなぜ回る

12月30日~1月30日放送 23:56~24:55 TBSテレビ

暗闇に光る建物、つまり「不夜城」のなかでなにが行われているのか? そんな知られざる世界を覗く面白さから始まり、不夜城の人々の人生、さらには現代社会の問題にまでつながっていく流れが見事。元々不夜城巡りを趣味にしていたというディレクター・大前ブジョルジョ健太の取材力には舌を巻く。どの回も、とても充実していた。

★詳細は月刊誌「GALAC」2023年4月号に掲載します